



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月30日

上場会社名 株式会社 リアルビジョン  
 コード番号 6786 URL <http://realvision.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 尚志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 三須 貴夫  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 045-473-7331

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	22	—	△44	—	△52	—	△53	—
24年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△1,112.41	—
24年3月期第1四半期	—	—

(注)「24年3月期第1四半期」は、連結実績のため数値を記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	1,228	1,179	96.0	23,973.89
24年3月期	1,184	1,130	95.5	27,458.15

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 1,179百万円 24年3月期 1,130百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	80	20.6	△80	—	△80	—	△80	—	△1,626.48
通期	400	145.4	10	—	10	—	10	—	203.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	49,187 株	24年3月期	41,187 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	1 株	24年3月期	1 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	47,779 株	24年3月期1Q	41,186 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 当社は前事業年度まで四半期連結財務諸表を作成していましたが、当事業年度より連結対象子会社が存在しないため、四半期連結財務諸表は作成していません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) セグメント情報等 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期、当社のおかれましては経営環境につき、世界経済は、欧州の債務問題や中国経済の成長鈍化等の影響で不透明な状況が継続しております。国内経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復の兆しが見られるものの、円高基調の定着と慢性化するデフレ等により、依然として弱含みで推移しております。

エレクトロニクス業界につきましては、スマートフォン及びタブレット端末の需要が引続き世界的に急速に拡大している一方、低価格が定着した液晶テレビや需要がスマートフォン及びタブレット端末に奪われたゲーム専用機器等、製品分野ごとに好不調の波が激しい状況にあります。

このような状況下、当第1四半期の業績は、売上高22,979千円、営業損失44,802千円、経常損失52,912千円、四半期純損失53,150千円となりました。

なお、前第1四半期会計期間については四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期比の記載はしていません。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

#### 1) グラフィックス関連事業

産業用グラフィックス事業につき、国内の医用向け画像システムの販売が中心ですが、第1四半期ということもあり売上は低調な結果となりました。しかしながら、医療事業の拡大を図る国際的な大手優良メーカーと共同開発を前期より継続して進めております。また、当社独自技術のFVT（注）を搭載した新製品について、当期中の販売開始を目指し開発を進めております。アミューズメント事業は、遊技機器関連企業からの受託開発の獲得に向け営業を推進いたしました。また、最大手のPOSシステムメーカーに、「JIGENシリーズ及びRacroix」による新製品開発の提案を行う等新規用途の開拓も進めております。

この結果、売上高18,799千円、セグメント損失14,845千円となりました。

#### 2) 部材関連事業

円高の定着で、引続き顧客が他国から部材関連を輸入しているため、売上は低迷いたしました。

この結果、売上高4,179千円、セグメント利益43千円となりました。

#### (注) FVT(ファインビューテクノロジー)

当社が独自開発した、デジタル医用画像を汎用モニタ上で実現するための技術。DICOMキャリブレーションや、輝度均一化制御、モニタ管理機能等を汎用モニタで実現することができる。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末と比較し43,931千円増加し、1,228,480千円となりました。資産の内訳は、流動資産が718,261千円（前事業年度末比46,202千円増）、固定資産が493,384千円（同2,184千円減）であります。流動資産の主な増加要因は、平成24年4月に実施した株式会社ソリトンシステムズ（以下、ソリトン社）への第三者割当増資による資金調達等により、現金及び預金が31,111千円増加したこと等であります。また、固定資産の主な減少要因は、円高に伴う評価減により、投資有価証券が2,161千円減少したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における負債は、平成24年6月開催の定時株主総会の決議で資本金及び資本準備金の額が減少し、当期に負担する事業税の資本割等の税額等の減少が見込まれることから未払法人税等が7,149千円減少したこと等により、前事業年度末と比較し4,356千円減少し、49,301千円となりました。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、当四半期純損失53,150千円を計上する一方、前述のソリトン社への第三者割当増資に伴う資本金及び資本準備金の増加103,600千円等により、前事業年度末と比較し48,288千円増加し、1,179,179千円となりました。

なお、平成24年6月開催の定時株主総会で資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金処分を決議し、資本金1,826,975千円及び資本準備金3,541,024千円を減少させ、合計5,367,999千円をその他利益剰余金に振替え、当該その他利益剰余金を欠損補填のため繰越利益剰余金に振替えております。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。今後、販売及び受注等の状況に応じ、開示ルールに従い、適時、公表してまいります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、平成14年3月期より前事業年度まで継続して当期純損失を計上し、当第1四半期累計期間も四半期純損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社は、当該状況を解消すべく、主業務のグラフィックス関連事業の収益化を早期に図る方針であります。収益化の具体的な施策といたしまして、グラフィックス関連事業の内、産業用グラフィックス事業では、医用及び航空管制向けの市場は堅調に拡大しており、新製品の投入等により売上の伸長を図ると共に、将来的に前述のソリトン社と連携し、医用画像ネットワークシステムへの対応を計画しております。アミューズメント事業では、できるだけ早期に「JIGEN-301」の量産化を目指しております。「Racroix」の機能強化を行い、遊技機器関連の他、POSシステムの表示機器等の新規用途への展開も進めてまいります。

なお、当社は、当該施策を実行する為のキャッシュは現在、確保しており、当第1四半期会計期間において継続企業の前提に関する重要な不確実性はないものと判断しております。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	614,447	645,559
受取手形及び売掛金	16,019	29,383
商品及び製品	48,036	47,574
仕掛品	3,975	6,346
その他	1,518	1,337
貸倒引当金	△11,939	△11,939
流動資産合計	672,059	718,261
固定資産		
有形固定資産	15,072	14,045
無形固定資産		
ソフトウェア	1,192	2,133
その他	655	655
無形固定資産合計	1,848	2,789
投資その他の資産		
投資有価証券	43,073	40,911
関係会社株式	588,570	588,570
その他	10,621	10,598
投資損失引当金	△146,696	△146,696
投資その他の資産合計	495,569	493,384
固定資産合計	512,490	510,219
資産合計	1,184,549	1,228,480
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,090	6,662
未払法人税等	8,042	892
引当金	9,844	5,114
その他	13,161	17,764
流動負債合計	33,139	30,434
固定負債		
退職給付引当金	12,870	11,413
資産除去債務	3,777	3,795
その他	3,871	3,658
固定負債合計	20,518	18,867
負債合計	53,658	49,301

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,022,725	1,247,549
資本剰余金	3,489,224	—
利益剰余金	△5,367,999	△53,150
自己株式	△185	△185
株主資本合計	1,143,763	1,194,213
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12,872	△15,034
評価・換算差額等合計	△12,872	△15,034
純資産合計	1,130,891	1,179,179
負債純資産合計	1,184,549	1,228,480

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	22,979
売上原価	19,169
売上総利益	3,810
販売費及び一般管理費	48,613
営業損失(△)	△44,802
営業外収益	
その他	2
営業外収益合計	2
営業外費用	
新株発行費	761
為替差損	7,350
営業外費用合計	8,112
経常損失(△)	△52,912
税引前四半期純損失(△)	△52,912
法人税、住民税及び事業税	237
法人税等合計	237
四半期純損失(△)	△53,150



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年4月17日を払込期日とする第三者割当による新株式8,000株（発行価格12,950円、資本組入額6,475円）の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ51,800千円増加しております。

また、平成24年6月26日開催の定時株主総会決議により、平成24年6月30日付で会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金を減少させ、その他資本剰余金に振替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。この結果、資本金が1,826,975千円（減資割合59.42%）、資本準備金が3,541,024千円（同100.00%）減少し、当第1四半期会計期間末において資本金が1,247,549千円となっております。

(5) セグメント情報等

当第1四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	グラフィックス 関連	部材関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,799	4,179	22,979	—	22,979
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,799	4,179	22,979	—	22,979
セグメント利益又は損失(△)	△14,845	43	△14,801	△30,001	△44,802

(注) 1. セグメント損益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△30,001千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損益は、損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。